学校番号	105

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説世界史Ｂ（改訂版）」　（山川出版）						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー（十九訂版）」　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史とは、「人々の人生における行動の積み重ね」を探求する学問である
・歴史的事象について「なぜ」の視点を持つ－機械的な暗記ではなく、その事象へと導く行動と結果を理解し、習得する

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代の世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、現代世界の諸課題への関心と、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚を持つ。	現代世界を取り巻く諸課題を歴史的観点から考察し、その過程や結果を多角的・多面的な視点をもってまとめ、適切に表現している。	古代史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選び取り、そこから読み取ったことを図や年表にまとめたりしている。	古代世界の歴史の展開の大枠を理解し、これを同時期の歴史と関連付けながら理解し、その基本的知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 主題学習	定期考査 レポート 主題学習	定期考査 ワークシート レポート 主題学習	定期考査 レポート 主題学習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	先史の世界／オリエントと地中海世界	・人類の進化 ・農耕・牧畜の開始と国家の誕生 ・古代オリエント世界	 ○ ○	○ 	○ ○ 	 ○	a:各文明の特徴を認識し、それが次の時代にどのようにつながるかを考察し理解を深めようとしている。 b:文明の発生と農耕・牧畜の開始、都市の成立との関連をどのようにとらえ、考えればよいのか、史料をもとに適切に表現している。 c:世界史の諸課題について理解するとともに、史料から有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。 d:各文明の特徴・しくみ・地域との関連性を身につける。	小テスト 定期考査 ワークシート
	オリエントと地中海世界（継続）	・ギリシア世界 ・ローマ世界	○ 	○ 	 ○	 ○	a:各文明の特徴を認識し、それが次の時代にどのようにつながるかを考察し理解を深めようとしている。 b:都市文明への発展過程をとらえ、どのように考えればよいのか、史料をもとに適切に表現している。 c:古代都市文明の諸課題について理解するとともに、史料から有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。 d:各文明の特徴・しくみ・地域との関連性を身につける。	小テスト 定期考査 ワークシート

2学期	アジアアメリカの古代文明	インドの古典文明 東南アジアの諸文明 中国の古典文明	 ○ ○	○	 ○	○ ○	a:各文明の特徴を認識し、それが次の時代にどのようにつながるかを考察し理解を深めようとしている。 b:図版を有機的に活用して、時代の流れを適切に表現している。 c:アジア古代文明の諸課題について理解するとともに、史料から有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。 d:アジア世界の流れと広大なユーラシアの中での位置関係・時代を理解し、それぞれの特徴が身についている。	小テスト 定期考査 ワークシート
	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成	○ ○	○	 ○ ○	 ○	a:北方遊牧民の移動が次の時代にどのようにつながるかを考察し理解を深めようとしている。 b:図版を有機的に活用して、時代の流れを適切に表現している。 c:中国史の諸課題と北方遊牧民について理解するとともに、史料から有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。 d:中国文明の流れと広大な中国の中での位置関係を理解し、それぞれの時代の特徴が身についている。	小テスト 定期考査 ワークシート

3学期	イスラーム世界の形成と発展／ヨーロッパ世界の形成	・イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・西ヨーロッパ世界の成立	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○	a:イスラーム世界とヨーロッパ世界の関係について、宗教的な面のみならず、経済的・政治的に興味を持ち、深く追求しようとしている。 b:学習で得た知識・技能を活用して諸史料をもとに考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地図を活用して、イスラーム世界とヨーロッパ世界との位置関係や地形などの自然環境を把握している。 d:イスラーム世界とヨーロッパ世界のそれぞれの特徴・成り立ちと関係性について的確に理解している。	小テスト 定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。